

シンポジウム

# 声と文学 第2回

La Voix et la Littérature



時：12月13日（土）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館3階第1会議室

## 1. 「音声、リズム、パフォーマンス」

10：00~12：15 司会：鈴木雅雄

梶田裕「主体なき口頭性：アンリ・ミショーにおけるリズム」

伊藤亜紗「読むことと話すことをめぐって」

熊木淳「叙情に抗う声——アルトー、オカール、ハイツィック」

## 2. 「声を記録する、声を創り出す」

13：15~15：30 司会：橋本一徑

新島進「人工の歌声をめぐる幻想——初音ミク、ルーセル、ヴェルヌ」

中田健太郎「オートマティスムはだれのもの？——ブルトン、電子音声現象、初音ミク」

福田裕大「録音再生技術の歴史的な位置づけ、ならびにフランス文学研究との接点」

## 3. 「声の捉えがたさ」

15：45~18：00 司会：塚本昌則

橋本一徑「魂は声を持つか——心霊主義における音声メディアと幽霊のアイデンティティ」

桑田光平「声、意味ではなく——バルト、キニャールを手がかりに」

鈴木雅雄「声は聞き逃されねばならない——後期シュルレアリスムとテレパシー」

入場無料 予約不要

(本コロックは、科学研究費補助金（基盤研究C）に基づく研究「近代フランス文学における散文の研究」の一環として開催されます。)

共同開催：早稲田大学文学部フランス文学研究室／東京大学文学部フランス文学研究室